

親子入浴のすすめ

入浴は、欠かせない生活行為の一つであり、生涯続くものです。東京ガスは、幼い時期から高齢期までライフステージに合わせた効果的な入浴方法やお風呂の楽しみ方について、「浴育のすすめ™」※として提案しています。今回は、親子入浴について調査した結果をもとに、お風呂ならではの親子の過ごし方や、快適な親子入浴のための環境づくりについてご紹介します。

親子入浴は貴重な時間

子供と一緒に入浴できるのは小学校4年生くらいまで

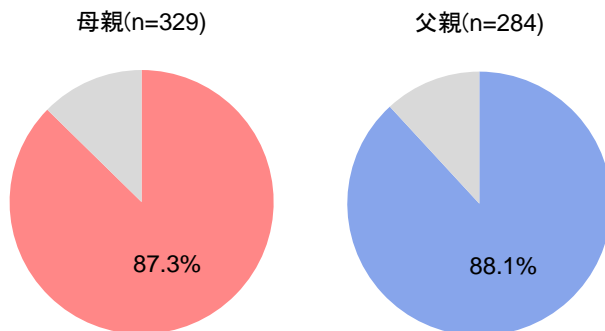
諸外国と比べて日本では、子供が親と一緒に風呂に入る家庭が多いです。

親子で入浴する時間について聞いてみたところ、母親も父親も約9割が「親子で入浴する時間は貴重な時間だ」と回答しました。

しかし、親子で入浴できる時期は限られています。図1は、親と一緒に入浴していた子供の年齢を聞いたものです。子供の年齢が上がるにつれて一緒に入浴する割合は下がり、全体の平均が半数を下回るのは9歳から10歳の間です。つまり、小学校4年生頃には、一緒に入浴しなくなる子供が半数以上になります。

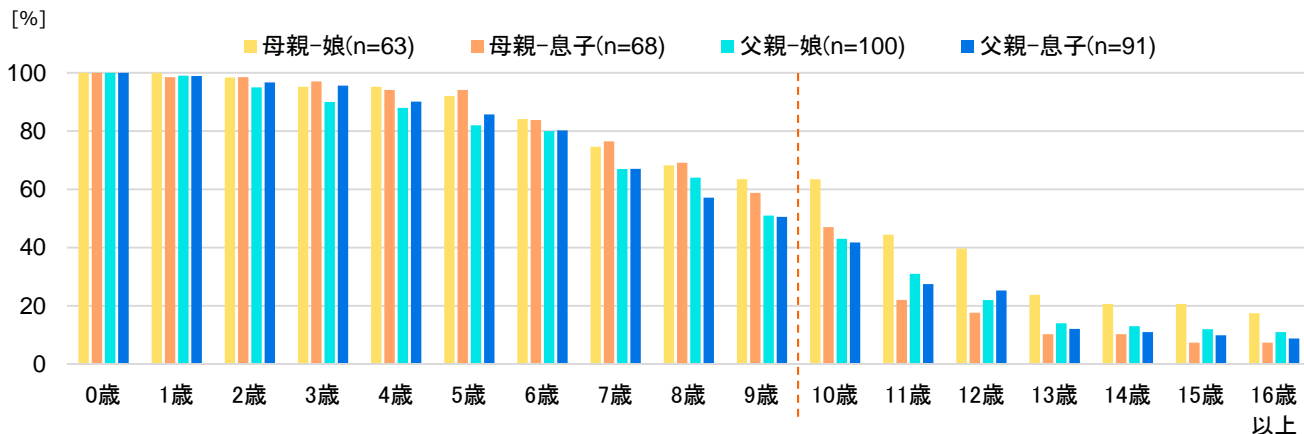
親子で一緒に入浴する、この貴重な親子入浴の時間を、生活者はどのように過ごしているのでしょうか。調査結果を交えてご紹介します。

図1. 親子で入浴する時間は貴重な時間だ
(あてはまる+ややあてはまる)



[親子入浴に関する調査③(2018年) 9歳以下の子供をもち、月1回以上一緒に入浴する20~40代男女]

図2. 子供が何歳になるまで一緒に入浴をしていたか



[親子入浴に関する調査①(2017年) 子供をもち20~50代男女 「月1回以上子供と一緒に入浴していたのは何歳までか」の回答を集計]